



WinActor Manager on Cloud Ver.3.9 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

はじめに



本書ではWinActor Manager on Cloud Ver.3.9で追加、変更された機能について解説します。
各機能の具体的な使用方法については、オペレーションマニュアルも併せてご参照ください。
本書では、WinActor Manager on CloudをWMCと表記します。

WinActor Manager on Cloud Ver.3.9



WMC Ver.3.9 で追加された主な機能を示します。

項番	項目	概要
1.	WinActor連携強化	WinActorとWMCの連携を強化し、より使いやすくしました。
2.	管理作業の簡略化	WMC上でシナリオファイルの更新などができるようにして、管理作業を簡略化しました。
3.	表示改善	必要な情報が簡単に参照できるようにしました。
4.	セキュリティ改善	ユーザ管理部分をよりセキュアに利用できるようにしました。
5.	その他の改善	お客様からいただいたご要望等を元に改善を実施しました。

1.WinActor連携強化

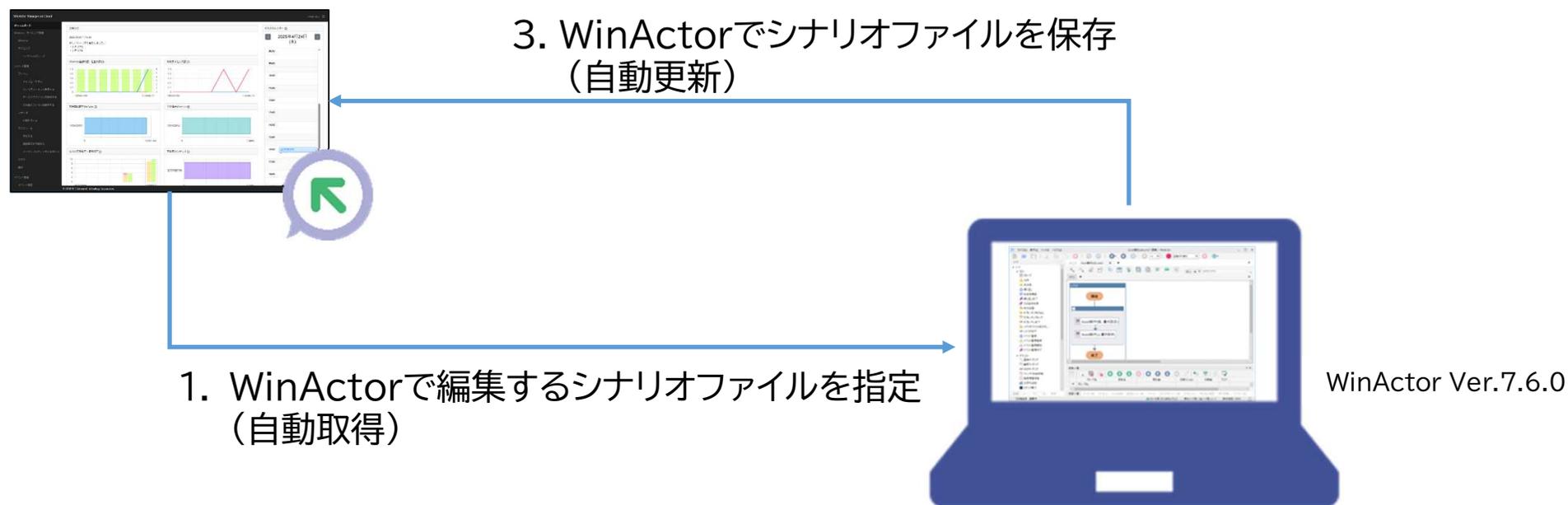
WinActorとWMCの連携を強化し、より使いやすくしました。

項番	項目	概要
1-1.	WinActorでのシナリオファイル編集	WMCに格納しているシナリオファイルをWinActorを使用して直接編集できるようになりました。
1-2.	強制停止、強制再起動	WinActorに対して強制停止、強制再起動を指示できるようになりました。
1-3.	タスク異常停止からの再開	エラー停止中のWinActorに対してタスクの実行を再開できるようになりました。
1-4.	管理実行版ライセンス取得失敗時のライセンスサーバ切り替え	WinActorに対して管理実行版ライセンスでもライセンス使用中にライセンスサーバの切り替えが可能になりました。

※「1.WinActor連携強化」の機能を使用するためにはWinActor Ver.7.6.0以降が必要になります。

1-1.WinActorでのシナリオファイル編集

WMCに格納しているシナリオファイルをWinActorを使用して直接編集することができるようになりました。この機能によりWMCのシナリオ情報などを再作成することなく、WinActorで編集したシナリオファイルを実行できるようになりました。



※ 編集の規模によってはシナリオ情報などの編集が必要になる場合があります。

※ WinActorの操作方法についてはWinActor操作マニュアルを参照してください。

1-2.強制停止、強制再起動

WinActorに対して強制停止、強制再起動を指示できるようになりました。これまでの停止、再起動では、未保存のシナリオがある場合など処理が完結できないケースがありましたが、強制的に停止、再起動を実行します。この機能によりフローティングライセンスを確実に回収することなどが可能になりました。



※ シナリオ編集中のWinActorに対して、強制停止、強制再起動を行うと、未保存の情報は残りませんので、本機能使用时はご注意ください。

1-3.タスク異常停止からの再開

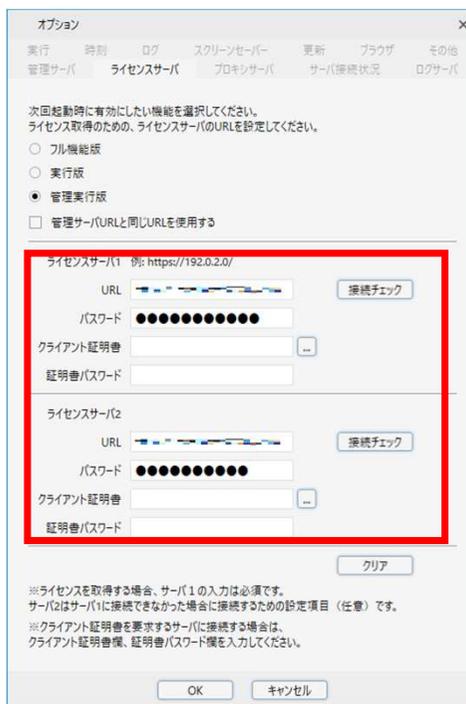
エラー停止中のWinActorに対してタスクの実行を再開できるようになりました。この機能により、最初からやり直すことなくタスクを再開できるようになりました。



※ ブラウザが未起動であったことによる実行失敗など、タイミングに起因する問題が原因で失敗していたケースを想定しています。

1-4. 管理実行版ライセンス取得失敗時のライセンスサーバ切り替え

WinActorに対して管理実行版ライセンスでもライセンス使用中にライセンスサーバの切り替えが可能になりました。この機能により、複数のライセンスグループをWinActorに設定しておくことで、ライセンスが取得できない場合には、別のライセンスグループのライセンスを使用することが可能になります。



※ WinActorの操作方法についてはWinActor操作マニュアルをご参照ください。

2.管理作業の簡略化

WMC上でシナリオファイルの更新などができるようにして、管理作業を簡略化しました。

項番	項目	概要
2-1.	管理作業の簡略化	ファイル、シナリオに対してより多くの項目を更新できるようにしました。また、スケジュールも更新できるようにしました。 (ファイル画面、シナリオ画面、スケジュール画面)

2-1.管理作業の簡略化(1/3)

WMCでシナリオを実行するには、ファイルの登録、シナリオ情報の登録、スケジュール情報の登録などが必要で、更新時にはこれらを最初から再登録する必要がありました。本機能により、必要な情報のみを更新するだけでシナリオ実行ができるようになりました。

■ファイル画面

シナリオファイル登録(履歴ID:1)後に修正を行い、同じファイルを更新(履歴ID:2)することができるようになりました。

履歴一覧						
履歴ID	説明	ファイルサイズ	登録者	登録日時	ダウンロード	削除
2	履歴を追加	1.23 KB	admin	2025/06/12 16:06:46		
1	説明の記入	2.02 KB	admin	2025/01/06 16:43:36		

※ 編集の規模によってはシナリオ情報などの編集、再作成が必要になる場合があります。

2-1.管理作業の簡略化(2/3)

■シナリオ画面

これまでは一部の情報しか更新できませんでしたが、今回の対応により更新可能な項目の範囲を拡張しました。

WMCv3.8のシナリオ情報更新画面

情報更新

シナリオID BORnQUXl9w6Fvu2rcRTAw

観シナリオID

名前 文字列連結

所属 NITAT

ファイル名 文字列連結.ums6

パスワード パスワード設定なし

名前	型	必須	省略値	説明
InputString1	文字列	必須		
InputString2	文字列	必須		

名前	型	説明
OutputString1	文字列	
OutputString2	文字列	

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

修正内容 200文字以下

シンプルモード このシナリオをシンプルモードで使用する [シンプルモードの実行方法選択画面を確認](#)

オプションセット

登録日時 2021/08/12 09:53:00

更新日時 2021/08/12 09:53:00

スケジュール名

文字列連結

OK

WMCv3.9のシナリオ情報更新画面

情報更新

シナリオID 7hcXJUV2Z85-8ykOO1dlg

シナリオ名 指定時間待機 64文字以下

シナリオファイル 指定時間待機.ums7

所属 共有

名前	型	必須	省略値	説明
待機時間	文字列	必須		ミリ秒
終了結果	文字列	必須		true:正常終了、false:異常終了

入力パラメータ

出力パラメータ

詳細設定を開じる

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄) 元のシナリオのパスワードは引き継がれません

タイムアウト 1800 数値0(無制限)、または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日) (省略時は1800秒)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオタグ 64文字以下

修正内容 200文字以下

シンプルモード このシナリオをシンプルモードで使用する [シンプルモードの実行方法選択画面を確認](#)

オプションセット

登録日時 2024/03/26 14:20:58

更新日時 2024/03/26 14:20:58

OK

※ 更新できる情報には制約があり、編集の規模によってはシナリオ情報などの編集、再作成が必要になる場合があります。

2-1.管理作業の簡略化(3/3)

■スケジュール画面

これまでは情報の更新ができませんでしたが、一部の情報については更新が可能になりました。



スケジュール更新

スケジュール名: 指定時間待機 (64文字以下)

シナリオ情報: 指定時間待機

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
待機時間	文字列	必須	ミリ秒	12000	10000文字以下
終了結果	文字列	必須	true:正常終了、false:異常終了	true	10000文字以下

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別 (即時)

日時を指定せずにスケジュールを登録します。登録したスケジュールから1回だけシナリオを実行します

詳細設定を閉じる

データ-真ファイル: 指定なし

アーカイブ:

- シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成する
- シナリオ実行後に作業ディレクトリのアーカイブを作成しない

ログ:

- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力する
- シナリオ実行時のログを作業ディレクトリに出力しない

異常発生時:

- シナリオ実行時に異常が発生した場合、そこで停止させる
- シナリオ実行時に異常が発生した場合、クリーンし、次のシナリオの実行の準備をする

終了後のメール送信:

- 送信しない
- 終了時に送信する
- 正常終了時のみ送信する
- 異常終了時のみ送信する

リトライ回数: 0 (0以上12以下の数値)

リトライ間隔: 0 (0以上3600以下の数値 単位は秒)

メモ: 200文字以下

OK

※ 更新できる情報には制約があり、編集の規模によってはシナリオ情報などの編集、再作成が必要になる場合があります。

3.表示改善

必要な情報を簡単に参照できるようにしました。

項番	項目	概要
3-1.	ダッシュボード表示項目の変更	ダッシュボードの表示項目を見直し、よく使われるWinActorやシナリオをわかりやすくしました。
3-2.	メニューの変更	メニュー構成の変更、および、弊社サイトで提供しているマニュアルやお知らせへアクセスしやすくしました。
3-3.	検索条件の省スペース化	検索時の初期条件をID、名前、所属のみに限定することで画面の省スペース化を図り、必要に応じて詳細設定から追加の検索条件を指定できるようにしました。
3-4.	設定の表示項目見直し	シナリオ登録およびスケジュール登録時に表示される項目を見直し、設定が必要な項目と、任意の項目をわけて表示するようにしました。
3-5.	詳細情報の表示項目見直し	シナリオ、スケジュール、タスク、進捗画面の詳細情報に表示される項目をグループ化し、情報の視認性を向上させました。さらに、タスクの詳細情報では、どの時点のシナリオファイルを使用して実行されたかが確認できるようになりました。
3-6.	表示情報の詳細化	ユーザ画面のメール送信契機や、ロール画面のロール設定を整理し、各項目が何を目的としているかがわかりやすくなりました。

3-1.ダッシュボード表示項目の変更

ダッシュボードの表示項目を見直し、よく使われるWinActorやシナリオをわかりやすくしました。

WinActor Manager on Cloud

お知らせ

2025/05/30 11:12:26

新しいシナリオを追加しました。
・シナリオA
・シナリオB

WinActor登録始数・起動始数

利用ライセンス数

長時間起動中WinActor

予約済みWinActor

タスク正常終了・異常終了

予約済みシナリオ

WinActor	タスク	シナリオ	
登録WinActor数	10	今月の通信量	0 KB
起動WinActor数	1	先月の通信量	0 KB
フル機能版	1 / 10	ファイル数	26
実行版	0 / 10	WinActor数	25
管理実行版	0 / 10	シナリオ数	3
		実行中タスク数	0
		ファイルサイズ合計	304.2 KB

タスクカレンダー

2025年4月24日(木)

指定時間待機

指定時間待機

旧ダッシュボードで表示していた情報を表示します。

お知らせをヘッダーからダッシュボードへ移動し、目立つようにしました。

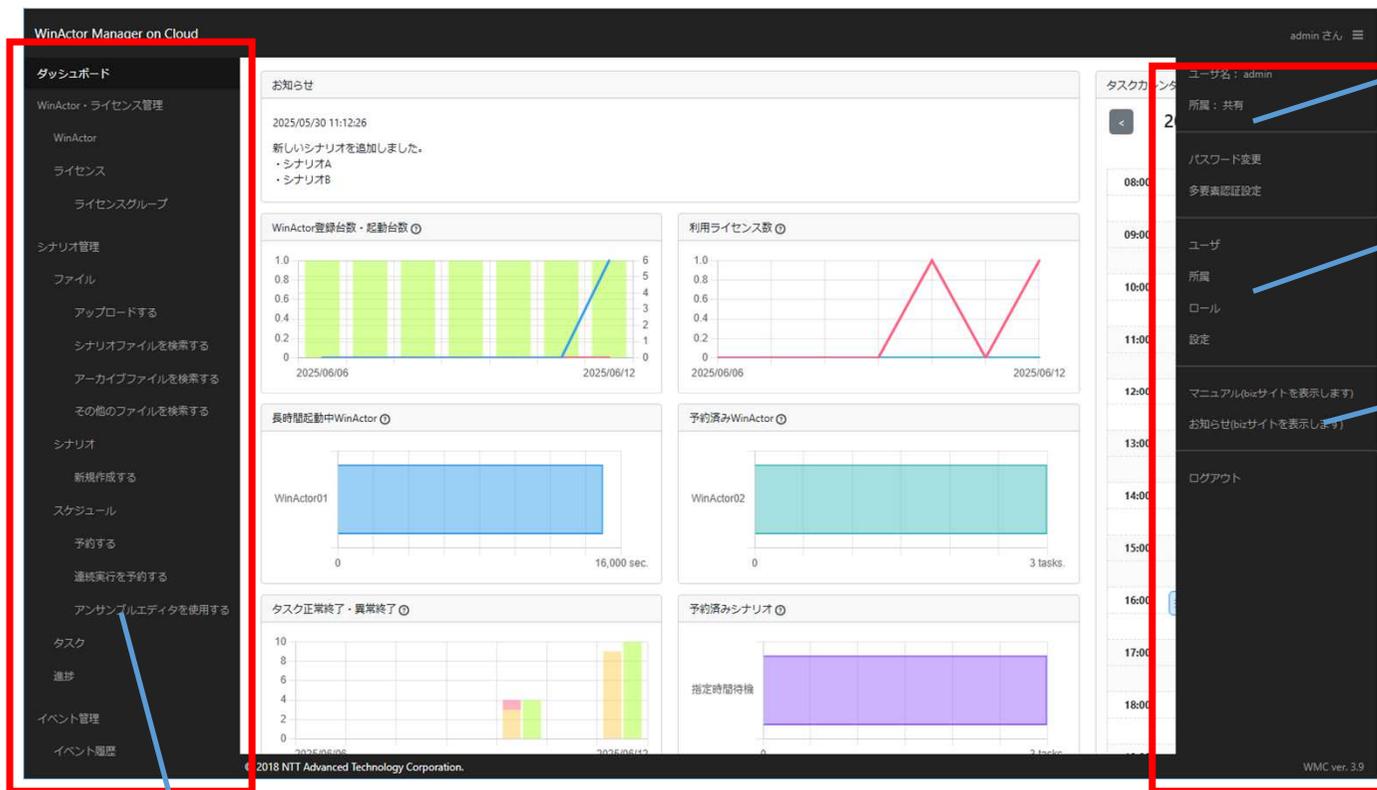
WinActor、ライセンス、シナリオに関する情報をグラフ表示し、長時間起動しているWinActorやよく使われるシナリオがわかるようにしました。また、グラフ全般を見直しました。

カレンダーは日毎の表示のみに変更しました。

旧ダッシュボードで表示していた情報を表示します。

3-2.メニューの変更

メニュー構成の変更、および、弊社サイトで提供しているマニュアルやお知らせへアクセスしやすくしました。



ユーザ名マウスオーバーで実施していたパスワード変更などをメニューから実施するようにしました。

画面右上のアイコンをクリックすることで右側に管理系のメニューを表示するようにしました。

弊社サイト上のマニュアル、お知らせへのリンクを用意しました。

項目をグループ化し、新規作成もメニューから選択できるようにしました。

3-3. 検索条件の省スペース化

検索時の初期条件をID、名前、所属のみに限定することで画面の省スペース化を図り、必要に応じて詳細設定から追加の検索条件を指定できるようにしました。



3-4.設定の表示項目見直し(1/2)

シナリオ登録およびスケジュール登録時に表示される項目を見直し、設定が必要な項目と、任意の項目をわけて表示するようにしました。

新規作成

シナリオ名 64文字以下

シナリオファイル 参照 シナリオファイルを一括指定

所属 共有

入力パラメータ

出力パラメータ

OK

新規作成

シナリオ名 64文字以下

シナリオファイル 参照 シナリオファイルを一括指定

所属 共有

入力パラメータ

出力パラメータ

パスワード 英数字記号64文字以下(設定しない場合は空欄)

タイムアウト 1800 数値0(無制限), または数値60秒以上(1分) 86400秒以下(1日) (省略時は1800秒)

メモ 200文字以下

機能タグ 64文字以下

シナリオ実行時間がこの値を超えると、シナリオは異常終了します

メモ 同じ機能タグを持つWinActorを使ってシナリオを実行したい場合は設定してください

シンプルモード このシナリオをシンプルモードで使用する
シンプルモードの実行方法選択画面を確認

シナリオタグ 64文字以下

オプションセット 選択

OK

シンプルに設定したいお客様は、初期表示項目を設定してください。

いままでと同じように設定したいお客様は詳細設定を開いて設定してください。

3-4.設定の表示項目見直し(2/2)

スケジュール登録では詳細設定に対応したほか、単体実行用の「即時」「日付指定」などを行うための『予約する』と、複数のシナリオを連続実行する「データ駆動」を行うための『連続実行を予約する』を別の導線として分離し、設定項目をよりわかりやすくしました。

■予約する

入力パラメータを中心としたシンプルな構成としました。

■連続実行を予約する

複数のシナリオを連続で実行するための設定項目を表示します。「データ駆動」のみを登録の対象としました。

スケジュール登録

スケジュール名: 指定時間待機 (64文字以下)

シナリオ情報: 指定時間待機

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
待機時間	文字列	省略可	ミリ秒	120000 10000文字以下	120000
終了結果	文字列	省略可	true/false	true 10000文字以下	true

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別

即時

日時を指定せずにスケジュールを登録します。登録したスケジュールから1回だけシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

スケジュール登録

スケジュール名: 指定時間待機 (64文字以下)

シナリオ情報: 指定時間待機

所属: 共有

名前	型	必須	説明	値	省略値
待機時間	文字列	省略可	ミリ秒	120000 10000文字以下	120000
終了結果	文字列	省略可	true/false	true 10000文字以下	true

連携パラメータ +

実行予定WinActor: 指定なし (シナリオを実行するWinActorを指定する)

実行指定: 種別

データ駆動

アンサンブル機能を使ってデータを登録したタイミングでシナリオを実行するようにスケジュールを登録します。データの登録があれば登録したスケジュールから繰り返しシナリオを実行します

詳細設定を開く

OK

3-5. 詳細情報の表示項目見直し

シナリオ、スケジュール、タスク、進捗画面の詳細情報に表示される項目をグループ化し、情報の視認性を向上させました。さらに、タスクの詳細情報では、どの時点のシナリオファイルを使用して実行されたかが確認できるようになりました。

The screenshot shows a task detail page with the following sections highlighted by a red box:

- ファイルに関する情報** (File-related information): Includes scenario file name, updater, and update date.
- シナリオに関する情報** (Scenario-related information): Includes scenario name, updater, and update date.
- スケジュールに関する情報** (Schedule-related information): Includes schedule name, archive settings, log settings, and a table of execution records.
- タスクに関する情報** (Task-related information): Includes input parameters (wait time, end result) and data files.
- 実行に関する情報** (Execution-related information): Includes output parameters, archive files, start/end dates, and update dates.

出力内容をグループ化し、情報の視認性を向上させました。

3-6.表示情報の詳細化

ユーザ画面のメール送信契機や、ロール画面のロール設定を整理し、各項目が何を目的としているかがわかりやすくなりました。

新規作成

ユーザ名 英数字記号64文字以下

パスワード 英数字記号64文字以下

パスワード(確認用) パスワードと同じ文字列

所属 共有

ロール名 user

オートログアウト 1800 60秒以上(1分)、86400秒以下(1日)の整数(省略時は1800秒)

メモ 200文字以下

WinActor

メールアドレス 注意：メールアドレスは省略可能です。通知が必要なユーザのみ設定してください。

メール通知契機

通知契機を選択（メールアドレスを入力すると選択することができます）

<input type="checkbox"/> WinActor異常通知	<input type="checkbox"/> WinActor接続数上限通知（管理者権限必要）
<ul style="list-style-type: none"> WinActorライセンス失効を通知する WinActor通値エラーを通知する WinActor停止・再起動状態不正を通知する 	<ul style="list-style-type: none"> WinActor接続数上限の警告/超過を通知する WinActor接続数上限超過状態でWinActor起動を通知する
<input type="checkbox"/> ライセンス期限通知（管理者権限必要）	<input type="checkbox"/> 未所属WinActor接続通知（管理者権限必要）
<ul style="list-style-type: none"> NLライセンス期限の警告/失効を通知する FLライセンス期限の警告/失効を通知する 	<ul style="list-style-type: none"> 未所属WinActorの接続を通知する
<input type="checkbox"/> タスク終了通知	<input type="checkbox"/> 承認通知
<ul style="list-style-type: none"> タスク正常終了を通知する タスク異常終了を通知する タスク異常停止を通知する 	<ul style="list-style-type: none"> シナリオ実行の承認依頼を通知する
<input type="checkbox"/> ライセンス数上限通知（管理者権限必要）	<input type="checkbox"/> ストレージ使用量上限通知（管理者権限必要）
<ul style="list-style-type: none"> ライセンス数上限の警告/超過を通知する 	<ul style="list-style-type: none"> ストレージ使用量上限の警告/超過を通知する
<input type="checkbox"/> 通信量上限通知（管理者権限必要）	
<ul style="list-style-type: none"> 通信量上限の超過を通知する 	

OK

4.セキュリティ改善

ユーザ管理部分をよりセキュアに利用できるようにしました。

項番	項目	概要
4-1.	ユーザアカウントの無効化	ユーザアカウントの無効化ができるようになりました。
4-2.	パスワード最低文字列長の変更	ユーザのパスワードに設定する最低文字数を変更可能とすることで、パスワードのセキュリティを強化しました。

4-1. ユーザアカウントの無効化

ユーザアカウントの無効化ができるようになりました。提供元が作成したアカウントなど、削除できないものも存在していました。そこでアカウントを無効化することで該当アカウントからのログインを不可とする対応を行いました。

詳細情報

ユーザID	J6eBG9k1CGAGFd7UhXa4xg	多要素認証	未設定
ユーザ名	watcher01	状態	有効
所属		最終ログイン日時	2025/04/02 15:13:53
ロール名	watcher	登録日時	2025/04/02 15:13:44
オートログアウト	1800	更新日時	2025/04/02 15:13:44
メモ			
WinActor	未設定		
メールアドレス			
メール通知契機	通知契機はありません		

テストメール送信 ロック解除 状態- 有効 無効

検索結果一覧

ユーザ名	所属	ロール名	更新日時	有効/無効
watcher01		watcher	2025/06/13 14:31:20	無効

※ ユーザを無効化するためには、そのユーザに設定されている承認設定をすべて解除する必要があります。

※ 無効化したユーザに対してはユーザ情報の確認、無効化の解除、削除のみが可能となります。

4-2.パスワード最低文字列長の変更

ユーザのパスワードに設定する最低文字数を変更可能とすることで、パスワードのセキュリティを強化しました。

動作に関する設定 ▲

WinActor タスク割り当て済みWinActorの削除 削除可能とする 削除不可とする

 ユーザ割り当て済みWinActorの削除 削除可能とする 削除不可とする

 機能タグ設定時の動作 機能タグが無いシナリオを実行可能とする シナリオの機能タグと一致する場合のみ実行可能とする

WinActor登録時のタスク割り当て 割り当て可能とする 割り当て不可とする

WinActor登録時の所属の初期値 共有所属とする 未所属とする (未所属のWinActorでタスクを実行することはできません)

初回接続時の一括設定ファイル

シナリオ シナリオ実行順序 タスクの生成日時順とする タスクの実行予定日時順とする

連続実行中の割り込みを防止する 割り込みを防止する 割り込みを防止しない

シナリオ実行タイムアウト初期値 数値0 (無制限)、または数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日) の整数(省略時は30分)

タスク待機期限 数値0 (無制限)、または数値1分以上 (1分) 1440分以下 (24時間) の整数

ユーザ オートログアウト初期値 数値60秒以上 (1分) 86400秒以下 (1日) の整数(省略時は30分)

ユーザパスワード最低文字列長 数値8以上、64以下の整数(省略時は8)

※ 本設定が有効になるのはユーザのパスワードについてであり、管理サーバパスワードやライセンスグループパスワードには影響しません。

5.その他の改善(1/9)

画面・機能	主な変更内容
ダッシュボード	<p>ダッシュボードからのタスク登録機能を廃止しました。今後はファイル、シナリオ、スケジュールの順で登録してください。</p> <p>ダッシュボードの情報は30秒間隔で更新していましたが、自動更新は廃止しました。そのため手動でのリロード、もしくは画面遷移をお願いします。</p>
WinActor画面	<p>ライセンスの利用履歴を表示するようにしました。</p> <p>タスクカレンダーを使ったUIにより対象WinActorの空き時間やタスク実行予定を表示するようにしました。</p> <p>指定時刻に対象のWinActorを停止できるようにしました。</p>
	<p>稼働情報のグラフを見直し、1週間もしくは1ヶ月の固定期間で情報出力するようにしました。</p>

5.その他の改善(2/9)

画面・機能	主な変更内容
WinActor画面	利用状況の一覧取得時に削除済みのWinActor情報も取得できるようにしました。
	FL利用時のWinActorが通信エラーになり、そこから復帰した場合に送信していたライセンス失効メールを送信しないようにしました。
	詳細情報画面に、「最終停止時刻」、「次回停止予定時刻」を表示するようにしました。
	ファイル出力のCSVフォーマットを変更し、「自動停止」、「種別」、「毎週何曜日」、「停止実行時間」、「最終停止時刻」、「次回停止予定時刻」を追加しました。

5.その他の改善(3/9)

画面・機能	主な変更内容
ファイル画面	<p>検索結果一覧上のファイル選択時に詳細情報を表示し、他の画面からの遷移時も詳細情報を表示するようにしました。</p>
	<p>検索結果一覧で実施していた編集、削除を詳細情報画面から実施するようにしました。</p>
	<p>ファイルに対して「説明」を設定できるようにしました。</p>
	<p>同一ファイルIDのまま、ファイル更新ができるようになり、更新履歴表示、過去ファイルのダウンロードを可能としました。更新時は「更新者」が記録されます。また、検索条件として「更新日時」での検索を可能としました。</p> <p>※履歴は最大100件まで保存されます。</p>
	<p>ファイル出力のCSVフォーマットを変更し、「更新日時」、「更新者」、「説明」を追加しました。</p>

5.その他の改善(4/9)

画面・機能	主な変更内容
シナリオ画面	<p>「シナリオID」を変更せずに更新できる範囲を拡大したため、情報更新エリアで編集できる項目が増えました。また、「更新者」を記録するようにしました。なお、本機能の改善に伴い、履歴の表示を取りやめました。</p>
	<p>詳細情報画面に「更新者」を表示するようにし、「親シナリオID」は非表示としました。また、ファイル出力のCSVフォーマットを変更し、「更新者」を追加しました。</p>
	<p>詳細情報・新規作成・情報更新・コピー編集画面で、オプションセット選択時、そのオプションセットの設定内容を画面表示するようにしました。</p>
スケジュール画面	<p>表示項目名を変更しました。ファイル出力によるCSVのヘッダ名も変更しました。 実行指定:日時指定 日付指定日 → 実行日 詳細情報:親スケジュールID → 分割元スケジュールID</p>
	<p>詳細情報画面に「更新者」を表示するようにしました。また、ファイル出力のCSVフォーマットを変更し、「更新者」を追加しました。</p>

5.その他の改善(5/9)

画面・機能	主な変更内容
スケジュール画面	<p>スケジュール登録画面を「予約する」(データ駆動以外)と「連続実行を予約する」(データ駆動)に分けるようにしました。また、スケジュール画面からもスケジュール登録できるようにしました。</p> <p>登録済みスケジュールのうち一部の情報については更新可能としました。「予約する」と「連続実行を予約する」の切り替えを行うことはできません。</p> <p>本機能を使用する場合は「スケジュール - 更新」を有効にしたロールを使用してください。</p>
タスク画面	<p>詳細情報に、使用した「シナリオファイル名」、シナリオファイル/シナリオ/スケジュールの「更新者」/「更新日時」を表示するようにしました。</p> <p>異常停止からの再開機能を使用すると、設定によってはアーカイブファイルが再開ごとに送られるため、アーカイブファイルの履歴を表示するようにしました。</p>

5.その他の改善(6/9)

画面・機能	主な変更内容
イベント画面	<p>以下のイベントメッセージを変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・タスク実行時のイベントログにライセンス名を追記しました。・シナリオ実行完了のイベントログにシナリオの実行時間を追記しました。・ライセンスグループ登録・更新時のイベントログの機能名表示を日本語表示にしました。・メール送信が一定回数以上失敗した場合にイベントログを記録するようにしました。
進捗画面	<p>アンサンブルエディタのスケジュール設定に対し、スケジュール画面の変更に合わせて「データ一覧ファイル」「アーカイブ」の設定を詳細設定内に移動しました。</p>
	<p>履歴内のステージ状態の表示を見直し、一つでも異常終了タスクがあれば「異常終了」と表示していましたが、待機中タスクを優先するようにし、一つでも待機中タスクがあれば「待機中」と表示するようにしました。</p>

5.その他の改善(7/9)

画面・機能	主な変更内容
ユーザ画面	検索条件にユーザの「状態」(無効/有効)を指定可能としました。
	詳細情報画面に「状態」を表示するようにしました。
	詳細情報に「承認待ちスケジュール名」を表示するようにしました。承認待ちスケジュールがある場合はユーザを無効化できませんので対象スケジュールを削除してください。
	未所属のWinActorが接続したときにメール送信する設定を追加しました。
	「接続数上限通知メール」を「WinActor異常通知メール」から切り離し、別のメール通知契機としました。「接続数上限通知メール」を送信している場合は本契機を有効とするように設定変更してください。

5.その他の改善(8/9)

画面・機能	主な変更内容
ユーザ画面	ファイル出力のCSVフォーマットを変更し、「WinActor接続数上限通知(notifyWinactorLimit)」、「未所属WinActor接続通知(notifyUndefinedWinactor)」を追加しました。インポート用のCSVもフォーマットが変更になります。
ロール画面	検索条件を「ユーザ種別」とし、「管理者権限」と「シンプルモード」の組み合わせで検索するようにしました。登録時も「管理者権限」と「シンプルモード」を組み合わせで「ユーザ種別」として登録します。
	検索結果一覧に「シンプルモード」を出力するようにしました。
	「利用可否」という表現を「使用できる機能」とし、取得、更新、操作の単位でも選択できるようにしました。また、今回の更新で項目(WinActor-異常停止からの実行再開、スケジュール-更新)を追加しています。
	既存ロールをコピー編集できるようにしました。

5.その他の改善(9/9)

画面・機能	主な変更内容
共通	<p>所属選択をひとつのプルダウンで実施するように変更し、さらに検索による絞り込みを可能とすることで素早く所属を選択できるようにしました。</p>
	<p>ロール選択を所属選択と同じUIとし、検索による絞り込みを可能としました。</p>
	<p>新規作成などの設定時、一部の項目については画面上に青色の枠で説明を表示するようにしました。</p>
	<p>有効／無効のような同一グループのボタンについては2つ並べるのではなく、ボタンクリック時にメニューを表示して選択する方式に変更しました。</p>
	<p>フォントサイズを変更し、画面を見やすくしました。</p>

ご利用中のお客様への影響(1/3)

WMC Ver.3.9 で追加された主な機能についてお客様への影響を以下に示します。

項番	機能	お客様影響
1.	WinActor連携強化	現在ご利用中のお客様への影響はありません。
2.	管理作業の簡略化	現在ご利用中のお客様への影響はありません。
3.	表示改善	メニューやグラフなど使いやすいように見直しました。オペレーションマニュアルを参照の上、表示内容や操作方法の確認をお願いします。次ページ以降も参照してください。
4.	セキュリティ改善	今回新設された設定を利用した場合、ご利用中のお客様アカウントに影響が出る可能性があります。設定を変更される場合はご注意ください。お客様が設定を変更しない限り、挙動が変わることはありません。
5.	その他の改善	メニューやグラフなど使いやすいように見直しました。オペレーションマニュアルを参照の上、表示内容や操作方法の確認をお願いします。次ページ以降も参照してください。

ご利用中のお客様への影響(2/3)

お客様からいただいた改善要望を元を実施した画面の見直しについて、以下に示します。

画面	見直した機能	代替機能
ダッシュボード	WinActor統計情報グラフ	WinActorの状態については、ダッシュボードに配置したWinActor登録台数・起動台数グラフ、もしくはWinActor画面から各状態のWinActorを検索する方法に見直しました。
	タスク情報グラフ	タスクの状態についてはダッシュボードに配置したタスク正常終了・異常終了グラフ、もしくはタスク画面から各状態のタスクを検索する方法に見直しました。
	タスクカレンダー (月表示、週表示)	月表示についてはタスク画面で日毎に総タスク数、正常終了数、異常終了数、中断数を検索してください。 週表示については日毎のカレンダーから日付を移動して確認してください。
	タスクカレンダー (タスク登録)	ファイル、シナリオ、スケジュールの同時登録機能はなくなりましたので、ファイル、シナリオ、スケジュールの順に登録してください。

ご利用中のお客様への影響(3/3)

画面	見直した機能	代替機能
ダッシュボード	異常WinActor一覧	WinActor画面から「状態」が「通信エラー」「エラー停止」「ライセンス失効」のWinActorを検索してください。
	異常タスク一覧(未確認)	タスク画面から「状態」が「異常停止」「異常終了」のタスクを確認してください。各タスクが確認済みか否かはタスク画面からファイル出力を行い、「タスク確認状態」を確認してください。
	実行中タスク一覧	タスク画面から「状態」が「処理中」のタスクを確認してください。
	30秒ごとのリロード	手動でのリロード、もしくは画面遷移してください。
WinActor画面	稼働状況グラフ	WinActor選択後の詳細情報画面から1週間、1ヶ月固定でCSVを取得してください。フローティングライセンスを使用している場合はライセンス履歴からライセンスの払い出し状況を確認してください。
シナリオ画面	履歴表示	対象のタスク情報のみを確認する方法に見直しました。



WinActor WinActor Manager on Cloud
Manager on Cloud Ver.3.9 リリースノート

NTTアドバンステクノロジー株式会社

© 2025 NTT ADVANCED TECHNOLOGY CORPORATION

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で複写、複製することは禁じられています。
本マニュアルの内容は予告なく変更される場合があります。

WMC-R-2025-0722
